

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		*	*	*
		商店街（代表者）	販売量の動き	・商品構成を見直し、店内の陳列を変えた結果、まとめ買いが増加した。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・卸売よりも小売の販売量の方が好調であった。
		スーパー（統括者）	販売量の動き	・野菜を始め生鮮食品が値上がりしているが、客の購買意欲が前年より上昇している。値下げ競争も一段落してきており、やっと食料品のデフレ傾向が止まりつつある。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・業種、店舗で波はあるものの、全体としては前年よりも伸長傾向である。特にサービス関連と飲食が好調に推移した。冬のセール終了後も気温が低かったこともあり、衣料品関連が苦戦したが、3月の春休み商戦からは回復してくる。
		高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・アジアからの外国人観光客は家族連れが増えている。日本人観光客は、大河ドラマの影響でツアー客が増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月も前半は低温が続いたが、中国の大型連休で外国人観光客が増加した。後半は大規模な催しが増え、タクシー利用も増えた。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・季節要因で販売量は増加しているが、予想を上回っている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・国内外からの観光客増加により、僅かに景気回復の兆候が見受けられる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・売上にはつながらないが、来客数に変化はない。購買意欲が余り見られない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客は食には金をかけるが、物にはかなり渋る。必要な備品に関しては購入・注文があるが、し好品に関しては前向きではない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・12月の終わりから1月は極度の寒さにより野菜が高騰している。2月はある程度は落ち着いたが、寒さにより白菜、レタス、キャベツの品質が低い。野菜価格は横ばい若しくは高くなっている。ほとんど原価が原価を切って売っており、かなり厳しい状況である。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・ここ数か月本当に売れていない。様々な客に聞いても、良い話はない。客が店に来ないので売りようがないという話をよく聞く。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・2月後半に入り、前年11月以降苦戦していた衣料品店舗の売上が回復してきた。一方、昨秋から競合激化、食材費高騰、人件費高騰で厳しい環境にある飲食店舗の来客数が減少し、回復の気配が見えない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・1月に引き続き2月も衣料品を中心に苦戦している。婦人服については2月は最初のセール時期になるが、百貨店の仕入れの問題もあり、中間層の客の動きが非常に厳しく、買い控えが出ている。一方、紳士服が2月のセール時期に入って健闘している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・バレンタインデー等の物産催事や各階での改装前のセールにより、来客数が増えた。定価品と割引品で売上が拡大している。客単価は維持しているが、商品単価と現金での購入が減少している。海外ブランド、貴金属、美術工芸品は依然として好調だが、家庭での生活を充実する意欲と慎重な購買姿勢は続いている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・セールでも必要な物だけが買わない。
		百貨店（営業統括）	来客数の動き	・前半は記録的な寒波の影響で来客数が減少し、後半は気温が上昇するも平昌オリンピックの影響で来客数が伸びなかった。冬物、春物共に動きが鈍く、購買意欲は高まっていない。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・寒波による積雪や、平昌オリンピック観戦等により、客に案内していても来店しないという状況は多々見られたものの、購買意欲そのものは低下しておらず、時期をずらして来店するという客が多い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・前年割れが続く厳しい状況は、3か月前と余り変わらない。今月は婦人服、子供関連商品が厳しい。

百貨店（店舗事業計画部）	販売量の動き	・中国の祝日により、外国人観光客による売上が前年比で伸長した。その内容は、化粧品やブランドの宝飾品・時計が中心であった。バレンタイン商戦では、自分へのご褒美や友人への贈答用として、高単価でも特徴的なものが引き続き好調であった。
スーパー（店長）	販売量の動き	・バレンタインデー関連の消費や、無駄な消費は敬遠気味である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・売上はかなり厳しい状況が続いている。客単価は若干上昇しているが、来客数の減少に歯止めが掛からない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・ディスカウントストアが近隣に出店し、ここ3か月の来店客数は前年比93%、売上も同96%くらいで推移している。青果の相場が高く、客の買い控えが生じており、厳しい状況である。鮮魚も生魚の客離れがひどい。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・日配品や雑貨、酒類を中心にディスカウントストアと競合、価格競争が生じ、店全体の来客数が前年比減の状況が続いている。生鮮食料品については一定の固定客が根付いており、客単価は上昇しているが、購入点数は前年並みであり、来客数の減少分を補うことができていない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に下がっている。気温の高低差が激しく、客の動向も良くない。天候に売上が大きく左右され、2月は厳しい状況である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数に変化はない。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・冬物最終セールを行っているが、購入数量が以前に比べて非常に減っており、客単価も低下している。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・この3か月、大型家電の売行きが悪い。
家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・寒波により、エアコンを中心に季節商材が売上の底上げ要因となっている。テレビや冷蔵庫等は平年並みである。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・例年2～3月は毎年車両販売台数が伸びるが、今年も順調である。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・現金一括購入を検討している客が増えている。そのため、購入までの決断が早く、販売量の増加につながっている。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・前年同期比で来客数は少ないが、売上は変わらない。今月は客単価が上昇した。
その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	お客様の様子	・例年寒い時期になると客が出歩かないため、売上は下がる。ただし、新規客も増えており、例年と変わらない売上になっている。
ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・気温が低かった一方で、花粉の飛散が前年より遅く、販売量に大きな変化はなかった。
その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格は、高止まりした。今年度は例年と比較すると寒さが増しており、燃料油の販売は順調である。3連休等により、観光客は必要な商品は購入するが、その他の商品の購入は慎重である。
その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（統括者）	来客数の動き	・春節の時期のずれがあり、来場動向に波があったが、全体的に大きな差はなかった。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・2月上旬は催事の効果もあり来客数も多かったが、中旬以降は少人数の宴会が多かった。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・昼時の来客数が少ない日が目につく。
都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・例年2月は閑散期で、売上は少ない。前年比予算は達成したが、余り大きな変化はない。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・需要は変わらないが、ホテルは供給過多である。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・客の利用頻度、単価も好調を維持しており、前年を大きく上回る売上を記録している。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・年度末の3月の動きは回復傾向にあるが、前年には追い付かない。4月以降の出足も決して順調ではない。北朝鮮情勢の沈静化を願っている。国内は、関西の大型レジャー施設を中心とした京阪神方面は好調に推移している。
タクシー運転手	お客様の様子	・夜は乗車率は高いが、昼の需要が伸びていない。

	タクシー運転手	来客数の動き	・2月は催事やコンサート、外国人観光客の影響で街にはぎわっていた。タクシー業界にも良い影響があった。
	通信会社（営業）	競争相手の様子	・競合他社と意見交換をしたが、当社と同様の状況であった。互いに施策等を打ち出し、同じ地域で商品販売、訴求をしているが、加入、解約の伸縮等も傾向が同じであった。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・年始の消費活動がいったん落ち着いた。
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・天候の影響で野菜への被害があり、農家も人手が足りず、単価は高いが売上は落ちている。サービス業も人手が足りないため、客を多く取れない状況が続いており、売上が伸びない。現在は底にいる状態である。
	競輪場（職員）	競争相手の様子	・全国の競輪場のいずれも売上高が伸びる傾向が見られない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・現実には厳しく、良くない状況である。
	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・季節要因により入院者が増加し、利用者が減少する。その結果、売上が減少した。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・生活必需品の価格上昇が続いているが、収入は変わらない。
	設計事務所（代表表）	来客数の動き	・来客数が今一つ少ない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の受注は横ばいである。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・非常に寒い日が続き、客の動きが悪かった。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順はもちろん、石油や生活用品の値上がりで一般小売店は今後も影響が出てくる。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・前年12月から、例年より早く冬物商材の動きが好調であったが、2月に入り防寒商品の売れ筋在庫がなく、売上が減少した。
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・景気回復は全く感じられず、石油や野菜の高騰は続き、限られた生活費の中からお茶代に使える金は僅かである。今月に入り来客数も減少し、売上は伸びていない。
	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・購入客数は前年に比べ増加したが、来店客数、売上は減少した。一方、近隣の商業施設では売上が増加しているところもある。部門別では、家庭用品、化粧品、食料品は前年を上回ったが、衣料品、雑貨は前年を下回った。外国人観光客による売上は前年を大きく上回っており、とくに化粧品が好調である。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・今月は節分やバレンタインデーがあったが、関連商品をどこの業態でも扱っているため、売上に結び付かない状況であった。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・単月では景気そのものを判断できないが、非常に悪くなっている。平昌オリンピック開催により、客数、客単価とも減少している。
	衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・例年と比べ、特別な日の需要が大幅に減少している。特に高額商品の売行きが悪い。
	家電量販店（総務担当）	来客数の動き	・テレビとエアコンだけは何とか計画どおりに進んでいるが、白物家電やパソコンが苦戦している。携帯電話が比較的好調であることが救いである。
	その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	来客数の動き	・非常に寒さが厳しかったことから、来客数が少なく、売上も伸びなかった。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年と比較して来客数が少ない。セール時のみ来客数が増えており、財布のひもが固くなっている。
	観光名所（従業員）	来客数の動き	・今年は凍結や積雪の回数が多く、例年以下の来客数となっている。3連休があったが、来店客数は2日目ではなく最終日の方が多かった。
	美容室（店長）	お客様の様子	・寒い日が続き、客足が遠のき売上も伸びなかった。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月は天候や平昌オリンピックの影響で昼間の買物客が少なく売上が伸びなかった。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・2月中旬まで寒い日が続いたせいか、来街客数が極端に減少し、販売量も減少している。

	x	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・少し気温が上がってきたが、相変わらず来街者はほとんどない。
企業 動向 関連 (九州)		-	-	-
		家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・今月の受注額は前年と変わらないが、問合せ、見積依頼、物件情報は10%以上増えている。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・客の動きをみると、少しずつ上向いている。製造業者が人手不足により生産量が減少することを見越して、客は早めに動く気配があり、売上が徐々に上がってきている。
		電気機械器具製造業(取締役)	受注量や販売量の動き	・受注見込み先が工場見学のため来所し、受入れ場所の確認が行われた。
		その他製造業 [産業廃棄物処理業]	取引先の様子	・半導体・電気系共に自動車や家電向けが好調で、少しずつ生産が上向きになっている。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・健康食品の受注が好調で、前年比108%で推移している。3~4月受注分も好調で、前年を上回る。
		通信業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・クラウド製品の売上が順調である。一方でマイナンバー対応や受注済の開発が一段落したことにより、売上高は横ばいである。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・2月はスポーツキャンプの時期であり、宿泊、小売業の景気が良かった。
		金融業(得意先担当)	取引先の様子	・前月以降、株価等の経済指標の変動が激しいなか、総じて経営者の景況感が固まってきている。これまで既存設備の維持、補修が主であった客先が、ここにきて更新投資を検討している。
		金融業(営業)	取引先の様子	・製造業を中心に、依然として高い需要を維持している。半導体関連は数年後まで需要が旺盛であり、自動車関連、産業機械もまずまずである。鉄鋼は少し持ち直している。
		その他サービス業 [物品リース](支社長)	取引先の様子	・決算業績と次年度投資の話を聞くと、増収増益で投資の計画もあり、堅調に推移している。会社ごとに特色があるが、自社の売上増のため取引先に有利な情報提供をしている経営者が多い。
		農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年どおり1~2月の売上は大変厳しかった。特に2月は寒波の影響があった。値上げ効果も少し出ている。居酒屋向けは厳しいが、新商品の問合せも来ている。加工メーカー向けは、2月は稼働日数が少なく、3月にならないと期待できない。
		繊維工業(営業担当)	それ以外	・運賃や石油の高騰で良くないが、新規客から珍しく問合せがあった。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の受注は上向いているが、産地全体では前年より落ち込んでいる。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先からの受注状況がほぼ変わらない。
		建設業(経営者)	取引先の様子	・客の様子は変わっていない。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・当社も同業他社も取扱量が減少している。倉庫自体は貨物で埋まっているが、回転しないため容量が足りない。一方、当地はカーシェアリング事業者が展開を予定しており、一部の商品は活況である。
		輸送業(総務担当)	取引先の様子	・業界全体として貨物量は毎年減ってきている。当社の取扱量は微増だが、売上の伸び率は停滞しており、景気は上向きとも下向きともいえない。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・新型車の販売効果の一巡から、車の売行きがほぼ横ばいで推移しているほか、住宅着工数も高水準ながら横ばいで推移している。一方、年末年始は好調であった百貨店やスーパーマーケットの売上がやや伸び悩んでいる。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・寒さが3週間続いたため、小売業にとっては良くなかった。
	経営コンサルタント(社員)	それ以外	・セミナーの案内をしているが、参加状況が悪い。	
	経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・取引先に大きな変化はないと回答する会社が多い。	
	経営コンサルタント(代表取締役)	取引先の様子	・2月は1日当たりの売上は前月と変わらないが、日数が少ないため、集計すると少し減少する。	

	その他サービス業〔コンサルタント〕(代表取締役)	競争相手の様子	・市町村が発注する調査や計画策定の支援業務は入札が多いが、2月に実施された入札では、予定価格の半額以下の金額で落札された。業務量が多いものを実費程度で入札に応じている業者がいることから、景気は悪い。
	農林水産業(営業)	受注量や販売量の動き	・季節要因もあるが、食品全体の値上がりが影響している。
	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・今年は前年と比べて日照時間が少なく、積雪が多かったため、露地野菜の生育が遅れている。市況が高ければ需給の均衡が取れていたが、ここにきて、輸入する加工会社が出てきたため、物が少ないにもかかわらず単価が安いという状態に突入しつつある。
	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・伝統食品の製造業であるが、食生活の多様化で出荷量は落ちている。
	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・繁忙期が終わり、受注、販売が減少する時期である。
	金属製品製造業(事業統括)	受注量や販売量の動き	・建築設備機器の受注量が良くない。売上につながる半年後は厳しい状況になる。
	金融業(営業担当)	取引先の様子	・今年に入り、週末の悪天候、低気温が続き、小売、飲食、サービス業等の一般消費者を対象とする業種は軒並み前年より売上が落ちている。したがって、景気はやや悪くなっている。
	x 建設業(社員)	受注量や販売量の動き	・公共工事に依存する地方の多くの建設業者は、年度末を迎えて発注物件が少なくなる時期である。ゼロ国債工事も若干は発注されているが、発注の平準化が望まれる。手持ち工事は少なく、技術者の仕事も空いていた。
雇用 関連 (九州)	-	-	-
	人材派遣会社(社員)	求職者数の動き	・求人依頼は引き続き堅調だが、年度替わりの時期に合わせて求職者が増加している。全体的に派遣料金が上がっていることもあり、派遣社員も現職場で継続するのではなく、条件の良い派遣先の仕事に転向する傾向がある。例年よりも企業の募集も早く、2か月先にスタートする求人依頼も増加しており、求人依頼と求職者が大きく動いている。
	人材派遣会社(社員)	採用者数の動き	・人材派遣を依頼してくる企業の中で、以前は自社で募集をしてもなかなか決まらないという企業が多かったが、最近は自社で見つけたため依頼を取り消す事案が増えてきた。求人数も以前よりも落ち着いてきており、需要と供給のバランスが取れつつある。
	人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・新年度の直接雇用の問合せが増えている。求職者の動きも出てきている。互いの条件が合わず成約には余り結び付いていないが、市場の動きは活発化している。
	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・年度末に近づき、求人・求職者の動きが活発になっている。
	民間職業紹介機関(社員)	求人数の動き	・求人数は毎月微増である。
	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・求人数は増加しているが、人手不足が続いている。
	新聞社〔求人広告〕(担当者)	それ以外	・復興需要による好景気も落ち着いてきたが、市街地への人出や消費動向から、ある程度景気が良い。
	新聞社〔求人広告〕(担当者)	周辺企業の様子	・寒さが厳しいほか、当地への客船の寄港も少なく、景気をけん引していた外国人観光客の需要も一息ついた。春になり回復するが、以前のような消費にはならない。
	職業安定所(所長)	求職者数の動き	・求職者の動向は、余り目立った動きがない。
	職業安定所(職員)	採用者数の動き	・医療福祉分野や派遣請負業等を中心に、前年度を上回る求人が提出されている。一方、求職者は前年比数%ずつ減少する月が続き、対人業務である接客や営業時間が長くなる自動車整備職等で希望する求職者が少ない状況が続いている。このことが、事業の拡大や利用者の受入れの足かせとなっている。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・管内事業所において、産業別・規模別で景気の格差が出てきている。零細企業になると人手不足が深刻で、現人員で対応できる受注量で回している。建設業については、公共工事の発注で業績が上がっている事業所もあり、平均すると変わらない。
	職業安定所(職業紹介)	求人数の動き	・引き続き求人数の増加がみられ、管内の有効求人倍率も高い水準で推移している。

	学校 [大学] (就職支援業 務)	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票は、前年の同時期と同程度である。
	-	-	-
x	求人情報誌製作 会社 (編集者)	求人数の動き	・当社調べの求人件数が今年に入って急激に前年割れで推移している。同業他社も同様である。